

# 製品安全データシート

作成：2010年11月10日

改訂：2013年06月01日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	メディテープチェック I
会社名	シスメックス株式会社
所在地	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
連絡先	シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 (代表) FAX：(078) 991-1917

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載	該当しない
GHS ラベル要素	該当しない
GHS 分類に該当しない有害危険性	本品は人尿をベースに調製されており、人由来の物質を含有している。原料は、HBs 抗原、HCV 抗体、HIV-1 抗体及び HIV-2 抗体の検査を行い、陰性の結果を得ているが、感染性を完全に否定できる検査法はない。また4項目以外の感染性物質については確認していない。従って、本品の取扱いにおいては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意する。

## 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物（凍結乾燥品、溶解液ともに）
化学的特性に関する情報	溶液（人尿をベースに調製されている）
危険有害成分	
化学名又は一般名 濃度（範囲）	該当しない
化学式	該当しない
CAS 番号	該当しない

## 4. 応急措置

吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された服やくつを脱がせ、付着または接触部を多量の水を用いて洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。
目に入った場合	直ちに多量の水で十分に洗い流し、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤	水など
消火を行う者の保護	消火作業の際には、必ず適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	皮膚や眼に直接ふれないよう注意する。作業の際には、必ず適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	関連法令に従って廃棄する。漏出を除去する。公共用水域に流れないように注意する。

封込め及び浄化の方法・機材	紙タオル等に吸着させ水拭きした後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム等で拭きとる。
---------------	---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	目、皮膚、衣服につかないよう注意する。
保管	
適切な保管条件	2～8℃で直射日光・粉塵等を避けて保管する。
容器包装材料	密封可能な容器

## 8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	
日本産業衛生学会	情報なし
A C G I H	情報なし
設備対策	情報なし
保護具	
呼吸の保護具	必要に応じて保護マスクを着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼の保護具	必要に応じて保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	凍結乾燥品：スポンジ状 溶解液：無色澄明の液体
臭い	特異臭
pH	凍結乾燥品を溶解液で溶解したとき、pH5.0～9.0の範囲内である。
引火点	情報なし
比重（相対密度）	凍結乾燥品を溶解液で溶解したとき、1.01～1.05の範囲内である。
溶解度	水に易溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常条件下では安定
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光、粉塵等を避ける。
混触危険物質	揮発性の化学物質
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復曝露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし
その他の情報	本品は人尿をベースに調製されており、人由来の物質を含有

している。本品の取扱いにおいては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意する。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	使用済みの本品および未使用品は、必ず適切な処理をした後、地域の規則および環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に従って適切に廃棄する。
汚染容器及び包装	内容物を除去した後、地域の規則および環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に従って適切に処理する。

## 14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則	該当しない
国際海上危険物規則	該当しない
国内規制	
陸上「鉄道／道路」	該当しない
内陸水路	該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	2～8℃で直射日光、粉塵等を避けて輸送する。容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

適用される法規制	該当しない
----------	-------

## 16. その他の情報

一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
-------	---